

医療用品（4）整形用品 JMDNコード 70444000
一般医療機器 カテーテル被覆・保護材

レアガード（NS）

再使用禁止

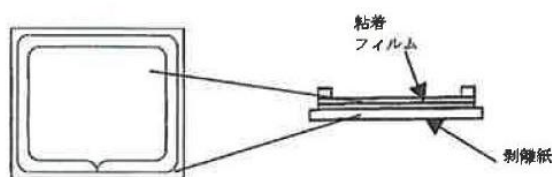
【禁忌・禁止】

1. 再使用禁止
2. 本品を感染した部位には使用しないこと。
[感染を増悪させる恐れがあるため]

【形状・構造及び原理等】

本品は天然ゴム成分を含まない低アレルギー性アクリル系粘着剤が塗布されたドレッシング材である。本品は酸素や水蒸気の透過性に優れ、防水性の粘着フィルムはフィルム自身に損傷のない限り外部からの汚染を防ぎ、刺入部を保護する。

<構造図>



* 【使用目的又は効果】

本品は注射針またはカテーテル刺入部位に直接貼付して、その固定に用いる。

* 【使用方法等】

1. 準備

- (1) 施設で定められた方法で適用部位の処置を行う。
- (2) 本品が良く粘着するよう、必要に応じて適用部位の除毛を行う。剃刃による剃毛は避ける。
- (3) 良好な粘着と皮膚障害の防止のため、薬液等は完全に乾燥させてから使用する。

2. 使用方法

- (1) 開封し、本品を取り出す。
- (2) カテーテル刺入部位に本品フィルム部分の中央を合わせ、先にカテーテル周囲をよく密着させてから周囲の皮膚へ粘着させる。
- (3) 本品中央部から端に向かって静かに押え、良く粘着させる。

3. 除去方法

- (1) 除去の際にはカテーテルや他の器具が抜かないように、カテーテルや皮膚を押さえながら注意して行う。
- (2) 本品の端を丁寧につかみ、毛の生えている方向に逆らわずにゆっくりと剥がす。皮膚に対して持ち上げるというよりも折り返す様に剥がす方が皮膚に過度な負担をかけずに剥がすことができる。フィルムの端をつかみ、皮膚と平行にまっすぐ引き伸ばしながらゆっくりと剥がすこともできる。
- (3) 医療用粘着剥離剤も本品の簡便な剥離に使用することができる。

* <使用方法等に関連する使用上の注意>

- (1) 貼付前に刺入部位の周囲を清潔にし、乾いた状態にすること。
- (2) カテーテル固定等の目的に合わせて適切なサイズを選択すること。

- (3) 引っ張って伸ばした状態で貼付すると皮膚障害や剥がれの原因となることがあるため注意すること。
- (4) 貼付前に適用部位の止血を行うこと。
- (5) 本品を扱うときには手を清潔にし、手袋を着用するなど、粘着面を汚染しないようにすること。[汚染した本品をカテーテル刺入部に貼付すると感染する恐れがあるため]
- (6) 本品にカテーテル等の負荷が過度にかかる場合は、必要に応じて医療用テープ等で固定するなど補強すること。
- (7) 適用部位は感染症やその他の合併症の兆候があるかどうかを確認するために頻繁に観察する。感染の兆候（発熱、疼痛、紅斑、異臭、浮腫、異常な浸出液など）が認められる場合は、本品を剥がし、直接部位を観察して直ちに適切な処置を行うこと。
- (8) 本品は施設の定められた方法に従って交換すること。または、発汗、汚染が見られた場合および縫合糸や他の器具による本品の浮きや穴の発生などバリア性が損なわれた場合は交換すること。

【使用上の注意】

* <重要な基本的注意>

- (1) 本品使用中に皮膚障害と思われる症状が現れた場合には、直ちに使用を中止し、医師に相談し適切な治療を行うこと。
- (2) 本品の使用中は各施設の規定に従い刺入部をよく観察し、感染の兆候に十分注意すること。また、患者の全身状態の悪化、全身管理の不足等によっても、刺入部位に感染症状が現れることがある。
- (3) 貼付部に粘着剤による発赤や浸出液等の貯留による浸軟を起こす場合がある。また、表皮剥離を起こす場合もあるので、本品の使用時には充分な観察を行い、本品の関与が否定できない異常が見られた場合には直ちに使用を中止し、医師に相談し適切な治療を行うこと。

【保管方法及び有効期間等】

* 1. 保管方法

水漏れに注意し、直射日光・紫外線・高温多湿を避けて、室温保存すること。

* 2. 有効期間

外装の使用期限欄を参照のこと。[自己認証（当社データ）による]

* 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

* 製造販売元

株式会社アグリス
〒834-0055 福岡県八女市鶴池 477-1
TEL 0943-30-1177